

国民健康保険被保険者証			
有効期限		平成	
記号	新	津	市
世帯主	住所	〒	
氏名	※		
保険者の名簿及び印	150078 新津市大字程島2009番地 新津市 電話 0250 460 2111		
交付年月日	平成	年	月 日

国民健康保険財政の現状

医療費を支える保険料

国民健康保険(国保)は、私たちが万一、病気やけがをしたとき、経済的な負担を少しでも軽くしようと、みんなが日ごろから、その収入などに応じてお金を出し合い、いざというときに備えようという相互扶助を目的に生まれた制度です。しかし、年々増え続ける医療費は、国民健康保険の財政を圧迫しています。今号では、国民健康保険制度を支えている保険料の大切さと、医療費節約につながる健康管理の大切さについて考えてみたいと思います。

国保をおびやかす 医療費の増大

昭和六十三年度の医療費総額は、四十四億八千三百万円にも上ります。図1は、国保加入者を一般(若人)、退職者等(長年、会社などに勤め年金を受けている七十歳未満の人とその家族、老人(七十歳以上)に大別して、一人当たりの医療費と保険料の推移をみたものです。一般に比べて、退職・老人の医療費の増大が著しくなっています。

また、図2を見てみると、加入者のうち老人の占める割合は全体のわずか一九・九％であるのに対して、総医療費に占める割合は四六・五％といへん

高くなっています。老人一人当たりになると、約五十三万円の医療費を要したことになります。

右下の表は、六十三年年度中にかかった医療費の多い人を順に並べたものです。一人年間約一千万円の医療費からも分かるように、医療技術の進歩とともに、医療費の高額化が進んでいます。

図1 一人当たりの医療費と保険料の推移 (単位:円)

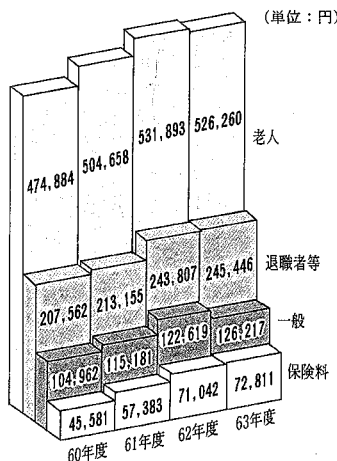


図2 年齢層別の加入者と要した医療費の比較

国民健康保険加入者割合	一般(若人) 12,187人 61.90%	退職者等 3,569人 18.13%	老人 3,932人 19.97%
総医療費に占める割合	15億3820万円 34.31%	8億7599万円 19.54%	20億6925万円 46.15%

63年度高額医療費の現状

- ① 男 83歳 9,724,940円 肝機能障害
- ② 男 59歳 9,675,620円 腎不全
- ③ 男 66歳 9,276,260円 肝機能障害
- ④ 男 73歳 9,246,680円 腎不全
- ⑤ 女 70歳 8,630,790円 骨髄腫
- ⑥ 男 49歳 8,547,410円 腎不全
- ⑦ 男 68歳 8,516,450円 脳梗塞
- ⑧ 女 80歳 8,338,550円 脳梗塞
- ⑨ 女 79歳 8,322,810円 脳動脈硬化症
- ⑩ 男 52歳 8,078,660円 無気肺